

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

真庭市の北房ホタル保存会がパンフレットを作りました。
 記事を読み質問に答えましょう。

低学年も
 チャレンジ!

Q1 「ホタルの里」とされる、真庭市北房地
 域はどんな所だと思いますか。記事にあるパンフレッ
 トの写真などから想像して書きましょう。

Q2 パンフレットには、どんなことがまとめ
 られていますか。第1段落から書き出しま
 しょう。

真庭市北房地域の住民らでつくる北房ホタル保存会
 (25人)は、ホタルの生息マップや会の歴史をまとめたパ
 ンフレットを製作した。地道な調査成果をはじめ、乱獲や

災害を乗り越えて生息環境を守ってきた歩みも盛り込ん
 だ。会員たちは「ホタルの里」の魅力を伝え、保護への関
 心を高めるきっかけになればと願っている。(中浜汐里)

ホタルの里・北房(真庭)を守ろう



北房ホタル保存会が作成したパンフレットを手にする
 平城会長

保存会がパンフレット製作

カラー8ページ。北房地域に
 生息するゲンジ、ヘイケ、
 ヒメボタルなど6種の特徴
 や、観賞時のマナーなどの
 情報を網羅している。
 中でも目を引くのが、会
 員約20人が昨シーズンをか
 けて調査したゲンジボタル
 の生息場所マップだ。夜間、
 光を発して交尾相手を探す
 繁殖行動を邪魔しないよう
 に、川沿いを徒歩で丁寧に
 調べ上げた。地域を流れる
 備中川やその支川の約6
 割、計29・6キロの区間で
 生息を確認できた。

平城元会長(68)は同市下
 部「ここまでの調査
 970年発足」に始まり、
 を記念して3年がかりで製
 作。乱獲などで減少したホ
 タルの増殖に取り組んだ
 「ホタルを育てる会」(1
 970年発足)に始まり、
 ホタルを気にかけてくれる人

地道に調査
 生息マップ



は初めてだろう。ホタルの
 里とされるゆえんを証明で
 きた」と胸を張る。
 パンプは会の活動50周年
 の歴史も紹介する。
 現在の会名に改称した20
 07年以降も、生態などを学
 べる「ほくぼうホタル学」の
 開催や生息数調査など精力的
 に活動する一方、会員の高齡
 化や人手不足は活動継続の懸
 念材料。パンフには、より多
 くの住民が活動に参加する契
 機になればとの思いも込め
 た。

光害対策や
 歴史も紹介



をもち増やしたい」と意気
 込む。
 千部製作。地元児童らに配
 布したほか、市北房振興局(同
 市下西部)に置いている。今季
 は、北房ほたる公園(同)周
 辺では6月10日ごろまでをピ
 ークに同月いっぱい、ゲンジ
 ボタルを楽しめようという。

Q3 北房ホタル保存会は活動を続ける上
 で、何を心配(懸念)していますか。次の
 文の を第6段落の言葉で埋めましょう。

や を心配している。

過去の問題は
 こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。